

系別：日本研究所

科目：日文翻譯與作文

准帶項目請打「V」

簡單型計算機

本試題共 一 頁

注意事項：題號標示清楚，無需抄題。出處僅供參考，無需翻譯。

壹、日翻中(30分)

普通の人が気付く、いわゆる文化の相違とは、比較的目につきやすい、具体的な現象に限られることが多いのである。一部の学者が、あらわな文化 (overt culture) と呼ぶ、文化の側面がこれである。(中略)

この顕在的な文化に対して、目に見えにくい、それだけに、仲々気が付かない文化の側面のことを、かくれた文化 (covert culture) と呼ぶ。食器の例で言えば、現在では日本人も、スプーンやフォークなど、かなり使いなれて、殊に若い人などは、箸よりも上手に使うくらいである。

ところが良く観察すると、西洋人と使い方が微妙に違うのである。たとえば日本人は、スプーンでスープを飲むとき、スプーンを顔と平行になるような角度で、口に持って行く。そこで必然的にスプーンの横に口をつけて飲む形になる。しかも吸い込むようにして、液体を口に入れる。「吸い物」の伝統が残るのである。

ところが西洋人は、どちらかと言えば、スプーンを顔と直角になるように近づけ、スプーン先端から飲む。そのとき、吸うのではなく流し込むようにするため、スプーンの先が、口の中に相当入り込むことになる。

(鈴木孝夫「ことばと文化」による)

貳、中翻日(30分)

首對來埔里「養病」，剛好鎮公所正推動 Long Stay 方案而被奉為上賓的日本籍中村伸大夫婦，爆料埔里生活環境差，長住會得「肺炎」後；離開埔里住處元寶大鎮，十二日悠閒地在廬山溫泉度假，但也透露將在四月十四日離開台灣。中村夫婦認為，埔里的機車太多，排放的廢氣使空氣品質差；而且到處可發現狗屎，容易滋生各種病菌；再居住下去，不但不能養病還會得到其他病。「埔里生活環境太差，不適合我居住，否則我的健康與生命會被戕害，同時我的心聲已在報紙上披露，為了避免被傷害，一定要提前結束埔里長住計畫。

(『中國時報』2006.03.13)

參、日文作文(40分)

題目：「カルチャー・ショック」